

商品名 カナグル錠100mg 医薬品基本情報

薬効	3969 その他の糖尿病用剤	一般名	カナグリフロジン水和物錠
英名	Canaglu	剤型	錠
薬価	149.90	規格	100mg 1錠
メーカー	田辺三菱製薬	毒劇区分	

カナグル錠100mgの効能・効果

2型糖尿病、2型糖尿病を合併する慢性腎臓病<末期腎不全又は透析施行中の患者を除く>

カナグル錠100mgの使用制限等

- | | | |
|---|-------|--------|
| 1. 1型糖尿病、2型糖尿病で透析中の末期腎不全、2型糖尿病で高度腎機能障害、2型糖尿病を合併する慢性腎臓病でeGFR30mL/min/1.73m ² 未満 | 記載場所 | 効能・効果 |
| | 注意レベル | 禁止 |
| 2. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、重症ケトosis、糖尿病性前昏睡、糖尿病性昏睡、重症感染症、重篤な外傷、手術前後、2型糖尿病で透析中の末期腎不全、2型糖尿病で高度腎機能障害、2型糖尿病を合併する慢性腎臓病でeGFR30mL/min/1.73m ² 未満 | 記載場所 | 使用上の注意 |
| | 注意レベル | 禁止 |
| 3. 2型糖尿病で中等度腎機能障害 | 記載場所 | 効能・効果 |
| | 注意レベル | 注意 |
| 4. 体液量減少を起こし易い体質、腎機能障害、利尿薬併用、感染症、食事摂取不良、脱水、インスリン分泌能低下、インスリン製剤減量、インスリン製剤中止、過度な糖質摂取制限、尿閉、排尿困難、乏尿、無尿、心不全<NYHA心機能分類4>、低血糖又はその恐れ・疑い、脳下垂体機能不全、副腎機能不全、栄養不良状態、飢餓状態、不規則な食事摂取、食事摂取量不足、激しい筋肉運動、過度のアルコール摂取、脱水を起こし易い体質、利尿薬併用、血糖コントロールが極めて不良、尿路感染、性器感染、2型糖尿病で中等度腎機能障害、高度肝機能障害、Child-Pugh分類で合計スコア9超、脳・心血管疾患の既往を有する血糖コントロール不良な2型糖尿病、脳・心血管疾患の高いリスクを有する血糖コントロール不良な2型糖尿病 | 記載場所 | 使用上の注意 |
| | 注意レベル | 注意 |

カナグル錠100mgの副作用等

- | | | |
|--|------|-------|
| 1. eGFR30mL/min/1.73m ² 未満に低下 | 記載場所 | 効能・効果 |
| | 頻度 | 頻度不明 |

2. 低血糖症状、脳梗塞、血栓・塞栓症、外陰部壊死性筋膜炎、会陰部壊死性筋膜炎、フルニエ壊疽、敗血症、敗血症性ショック	記載場所 重大な副作用
	頻度 頻度不明
3. 低血糖、口渇、多尿、頻尿、血圧低下、脱水、ケトアシドーシス、糖尿病性ケトアシドーシス、腎盂腎炎	記載場所 重大な副作用
	頻度 5%未満
4. 失神	記載場所 その他の副作用
	頻度 頻度不明
5. 尿路感染、カンジダ性龟头炎、膀胱炎、腔感染、外陰部腔カンジダ症、真菌性性器感染、外陰腔真菌感染、赤血球増加症、無症候性低血糖、高カリウム血症、高尿酸血症、ケトーシス、食欲減退、浮動性めまい、体位性めまい、頭痛、回転性めまい、低血圧、起立性低血圧、呼吸困難、便秘、腹部膨満、腹痛、下痢、口内乾燥、胃炎、胃食道逆流性疾患、悪心、嘔吐、湿疹、皮膚そう痒症、発疹、皮膚潰瘍、蕁麻疹、中毒性皮疹、筋痙縮、頻尿、排尿困難、緊張性膀胱、尿意切迫、夜間頻尿、多尿、糖尿病性腎症、腎機能障害、慢性腎臓病、急性腎障害、末期腎疾患、龟头包皮炎症、陰部そう痒症、外陰腔そう痒症、疲労、空腹、倦怠感、末梢性浮腫、口渇、血中ケトン体増加、血中クレアチニン増加、血中尿素増加、γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加、糸球体濾過率減少、尿中血陽性、体重減少、尿中ケトン体陽性、尿量増加	記載場所 その他の副作用
	頻度 5%未満
6. 細菌尿、蜂巣炎、結膜炎、性器カンジダ症、口腔カンジダ症、歯周炎、肺炎、股部白癬、外陰部炎、外陰腔炎、カンジダ感染、貧血、白血球増加症、水分過負荷、痛風、高血糖、低ナトリウム血症、血液量減少症、代謝性アシドーシス、多飲症、脳卒中、糖尿病性ニューロパチー、労作性めまい、味覚異常、末梢性ニューロパチー、糖尿病網膜症、網膜症、耳鳴、突発性難聴、狭心症、不安定狭心症、心房細動、うっ血性心不全、冠動脈疾患、動悸、頻脈、心室性期外収縮、急性冠動脈症候群、高血圧、咳嗽、腹部不快感、上腹部痛、慢性胃炎、嚥下障害、痔核、過敏性腸症候群、肝機能異常、接触皮膚炎、薬疹、全身性皮疹、皮膚病変、全身性そう痒症、糖尿病性足病変、背部痛、筋力低下、腎結石症、中毒性ネフロパシー、蛋白尿、尿失禁、良性前立腺肥大症、腔分泌物、勃起不全、無力症、胸部不快感、悪寒、注射部位内出血、血中重炭酸塩減少、血中クレアチンホスホキナーゼ増加、血中乳酸脱水素酵素増加、血中カリウム増加、ヘマトクリット増加、赤血球数増加、尿中アルブミン/クレアチニン比増加、肝酵素上昇、転倒、上腕骨骨折	記載場所 その他の副作用
	頻度 0.1%未満
7. 血清クレアチニン上昇、eGFR低下	記載場所 使用上の注意
	頻度 頻度不明
8. 悪心、嘔吐、食欲減退、腹痛、過度な口渇、倦怠感、呼吸困難、意識障害	記載場所 使用上の注意
	頻度 頻度不明
9. 脱水、糖尿病性ケトアシドーシス、高浸透圧高血糖症候群、脳梗塞、血栓・塞栓症、尿路感染、性器感染、腎盂腎炎、外陰部壊死性筋膜炎、会陰部壊死性筋膜炎、フルニエ壊疽、敗血症、重篤な感染症、腎機能障害悪化、継続的にeGFR45mL/min/1.73m ² 未満に低下、ケトーシス、ケトアシドーシス、体重減少、eGFR30mL/min/1.73m ² 未満に低下、腎盂拡張、尿細管拡張、出生仔体重増加抑制、脱水症状、口渇、下肢切断、精巣間細胞腫、副腎褐色細胞腫、尿細管腫瘍	記載場所 使用上の注意
	頻度 頻度不明

カナグル錠100mgの相互作用

1. 薬剤名等：利尿薬併用

発現事象	脳梗塞、脱水、血栓・塞栓症、高浸透圧高血糖症候群、糖尿病性ケトアシドーシス	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

2. 薬剤名等：利尿剤併用

発現事象	脱水	投与条件	-
理由・原因	本剤の利尿作用	指示	注意

3. 薬剤名等：糖尿病用薬

発現事象	低血糖症状	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が増強	指示	注意

4. 薬剤名等：血糖降下作用を増強する薬剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が増強	指示	注意

5. 薬剤名等：血糖降下作用を減弱する薬剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	血糖降下作用が減弱	指示	注意

6. 薬剤名等：ジゴキシン

発現事象	Cmax及びAUCがそれぞれ36%及び20%上昇	投与条件	本剤300mg
理由・原因	本剤のP-糖蛋白質阻害作用	指示	注意

7. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本剤のCmax及びAUCがそれぞれ28%及び51%低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝酵素であるUGT1A9及びUGT2B4をこれらの薬剤が誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	注意

8. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	本剤のCmax及びAUCがそれぞれ28%及び51%低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝酵素であるUGT1A9及びUGT2B4をこれらの薬剤が誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	注意

9. 薬剤名等：フェノバルビタール

発現事象	本剤のCmax及びAUCがそれぞれ28%及び51%低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝酵素であるUGT1A9及びUGT2B4をこれらの薬剤が誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	注意

10. 薬剤名等：リトナビル等

発現事象	本剤のCmax及びAUCがそれぞれ28%及び51%低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝酵素であるUGT1A9及びUGT2B4をこれらの薬剤が誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	注意

11. 薬剤名等：利尿作用を有する薬剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	利尿作用が増強	指示	注意

12. 薬剤名等：炭酸リチウム

発現事象	作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	血清リチウム濃度が低下	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』